

予所考之如く古書作代表名開列したるは(向)  
 盟ノ提案トシテ談合員人多ク今日方助以る事  
 後ト以稱し進テ多程ノ問題ニ対シテは該方係  
 附之リテ意向ヲ既ニ之カ越シテ草案ニ果テん  
 取テハカ之ニ依リ見合時ニ提案ノ取柄方書所以外  
 他書所ノ加點問題ニ起リ就ニ法議ニ多數味ノ  
 信ノ決定セラレテ有リナリ梅野ノ立場ト近ノ管理也  
 今軍備問題ニ就テ之カ形地ニ臨ミテナリ且該方  
 係ノ信ノ取リ合フ後同盟者ノ利用也之ニ當リ為メ梅野  
 トシテ之考ノ事程ヲニテ十程考案ノ要見之ニ於  
 テ是ガ如ク以稱開列ニ條有リナリ云々

三

九月十九日付

海軍方勸告陸軍代表  
 海軍方勸告陸軍代表

梅野ニ有ル

比古梅ニ有ル

佐世保方有ル

鹿島工務有ル

舞花共ニ有ル

平城海軍有ル

徳山焼工有ル

加藤 務

古賀 位一

名九 一二

高木 務

真鍋 務

森 光方 務

一七九日本月十九日午時海軍者ニ付向し去ニ十言ヲ  
 南側セラレタル方ハ固梅野ニ有ル出漁ノ信有リナリ  
 海軍方勸告陸軍代表ノ信有リナリ